

第八十八日目

師 範：日本人自体が受けた被害や犠牲も多かったのですが，日本がアジア・太平洋の国々や連合国の人々にあたえた被害と犠牲は，その何倍も何十倍も多かったのです。



永久平和を願っていたにもかかわらず，わずか5年後に，朝鮮半島で激しい戦争が始まってしまいました。

朝鮮民族を東西対立が分断し，相互に戦わせることになりました。

爆弾の量は大変なものでした。朝鮮半島は荒廃し，家族も南北に離散し，多くの犠牲者がでました。

日本の植民地支配から解放されたと思ったら，米ソ・米中対立の場にされてしまったのです。

1950年の6月から始まり，1953年の8月まで続きました。

1950年 朝鮮戦争がはじまる。

この朝鮮戦争の年を覚えましょう。

コン太：ぼくから



「朝鮮の人の救護を頼む国連」

「ひと」は1，「きゅうご」は95，「を」は0ですね。

「朝鮮で 人の救護を 頼むUN」

というのもできました。

師 範：五・七・七で調子も整っています。

朝鮮戦争は2年間も激戦が続き，それから休戦会談が始まり，53年に休戦協定が結ばれて，終わりました。

全土の80%が焦土になり，何百人という人が死んだり負傷しました。

この戦争にはとなりの国である日本は，戦闘に加わりませんでした。

しかし，日本国内や沖縄の米軍基地から，多くの戦闘機や爆撃機が飛び立っていきました。

そして兵器の修理や衣料関係の物資の補給や自動車の補給などをしました。

そのおかげで，日本経済は活発になり，復興しました。

ペン太：ぼくは，戦後5年目ということで覚えておこう。

